

本日午後開催された新型コロナウイルス感染症対策本部会議において、議題事項は特にありませんでしたが、直近の感染状況や医療体制、ワクチン接種の取り組み等について事務局より報告があり、本部員で共有しました。

年齢階級別の新規陽性者数では、全年代において前週比が減少しており、また、社会福祉施設における療養者数も減少傾向にあることから、ゴールデンウィーク後の感染拡大はピークを過ぎたと考えております。

特に、連休後、子どもたちの感染拡大が続いていたことから、県では子どもを守る対策の徹底を呼びかけてきたところですが、県民の皆さまのご協力もあり、新規陽性者数は減少しています。子どもを守る感染対策にご協力頂きまして、ありがとうございます。

一方で、先週末から、沖縄県総合体育大会(インターハイ)が、本格的に始まっており、また、沖縄県中学校体育連盟(中体連)による地区大会もこれから始まります。参加される生徒の皆さんは、引き続き、感染対策を徹底しながら、競技に臨んで頂きたいと思っております。さらに、生徒の皆さん、保護者におかれては、試合後の慰労会等、多人数による会食は控えてください。

さて、新規陽性者数は減少していますが、沖縄県の病床使用率は45.3%となっており、高い状況が続いています。

特に、本島圏域の病床使用率は51.8%となっており、引き続き高い状況となっているほか、宮古圏域では、重点医療機関で診療制限が続いており、医療がひっ迫しています。

本島及び宮古圏域のコロナ感染拡大警報の期間は、今月9日までとなっております。各圏域にお住まいの皆さまは、引き続き、感染対策の徹底をお願いします。

入院患者数は、5月31日に300名を下回りましたが、現在でも290名近くの入院患者がおり、重点医療機関の休業スタッフ数は400名を超えるなど、医療機関は引き続き、厳しい状況に置かれています。

そのため、症状は軽いが薬は欲しい、日中は忙しいので夜に受診した等、不急と思われる理由による救急受診は避けて頂き、引き続き、適正な救急受診へご協力をお願いします。

なお、現在運用しています「抗原定性検査・陽性者登録センター」については、6月以降も延長することとしました。感染しているのかどうか不安のある方は、是非ご活用ください。詳細は県ホームページをご確認ください。

ワクチン接種の加速化にも、さらに取り組みます。

県では、6月4日(土)5日(日)の2日間イーアス沖縄豊崎に、また6月18日(土)には、読谷村地域振興センターに臨時の接種会場を設置します。予約無しで3回目接種を受けられますので、各会場の近隣市町村にお住まいの皆さまにとっては、お時間をかけずに接種できる、絶好のチャンスです。この機会に是非、ワクチン接種をご検討ください。

県内における感染拡大はピークを過ぎたと考えていますが、これまでと変わらず、一人ひとりが基本的な感染対策を徹底することが、感染拡大を抑制し、医療ひっ迫を防ぐことにつながります。

県民の皆さまにおかれましては、梅雨の時期ですので、窓を開けて換気ができないなど大変ではありますが、毎日の感染対策を緩めることなく徹底してください。宜しくお願い致します。